

武蔵野市立第五小学校及び井之頭小学校改築
実施設計等業務委託に関する
公募型プロポーザル 審査講評

令和6年6月

武蔵野市立第五小学校及び井之頭小学校改築設計者審査委員会

はじめに

武蔵野市立第五小学校（以下、「第五小」とする。）及び井之頭小学校（以下、「井之頭小」とする。）改築事業（以下、「本事業」とする。）は、現在進行中である武蔵野市立第一中学校（以下、「第一中」とする。）及び第五中学校（以下、「第五中」とする。）に続く改築事業である。

令和5年4月に改築基本計画を策定し、令和5年3月に基本設計を完了させた。実施設計については、工期短縮、工事費縮減を目的に、設計・施工一括方式で施工会社に発注することを想定していたが、昨今の社会情勢から不調の可能性が高いと判断し、実施設計と工事を分けて発注することとした。

基本設計でのコンセプトを継承しながら、豊かで創造的な学習空間を実現する設計力、工期短縮や経済性に優れた工法の提案力、2校同時に設計を進める組織力などを有した設計者を選定するために公募型プロポーザルを実施することとし、審査は行政関係者4名で構成する「武蔵野市立第五小学校及び井之頭小学校改築設計者審査委員会」（以下、「審査委員会」とする。）により行った。審査にあたっては、各委員がそれぞれの専門分野での経験や知識を出し合い、厳正かつ慎重な議論を重ねたうえで、本事業にふさわしい設計者を公正かつ適切に選定することに尽力した。令和6年5月31日に実施した審査委員会における審議及び審査を終えて優先交渉権者を選定したので、ここに審査講評を取りまとめる。

武蔵野市立第五小学校及び井之頭小学校改築設計者審査委員会

委員長	真柳 雄飛	（武蔵野市教育部長）
委員	田中丸 善史	（武蔵野市教育部教育企画課 学校施設担当課長）
委員	神谷 淳一	（武蔵野市財務部施設課長）
委員	伊藤 聡	（武蔵野市財務部施設課 施設調整担当課長）

1. 審査

応募者より提出された技術提案書を基にプレゼンテーション審査及びヒアリングを行い、次に示す観点などから審査委員会により総合的に評価及び審査を行った。

開催日 令和6年5月31日（金）

開催場所 武蔵野市役所 教育委員会室

評価項目		判断基準	配点		
			共 通	五 小	井之頭小
①	基本設計書(建築)の理解度及び実施設計時に検討すべき事項について	基本設計を踏まえ、実施設計時に検討すべき項目について認識しているか。	—	60	60
②	基本設計書(構造・設備)の理解度及び実施設計時に検討すべき事項について	基本設計を踏まえ、実施設計時に検討すべき項目について認識しているか。	50	—	—
③	施工者へのヒアリング方法、ECI方式への対応方法	施工者の意向を適切に確認できるヒアリング方法か。 ECI方式において、施工者と円滑に調整できるか。	120	—	—
	建設コストの設定	社会経済情勢(人材確保、材料調達等)を適切に把握し、適正な建設コストを算定することができるか。			
	建設工期の設定	綿密な施工計画を策定し、適正な工期を算定することができるか。			
④	管理技術者・主任担当技術者(意匠)の実績	優れた実績があり、本業務への展開が期待できるか。	30	—	—
⑤	チーム体制、スケジュール	本業務を適切に遂行できる体制、スケジュールが組まれているか。	50	—	—
⑥	プレゼン力	説明や意見調整の能力を有しているか。	30		
⑦	価格点	得点=(最低価格÷提案価格)×100点	100	—	—
			合計 500		

※④管理技術者・主任担当技術者(意匠)の実績については、以下のように評価する。

【管理技術者】

- ・実績1件につき、6点×区分係数(公立小学校1.0、公立中学校0.8、その他の教育施設0.6)×立場係数(管理技術者1.0、主任担当技術者0.8、担当者0.5)×受注形態係数(単独1.0、JV(代表企業)0.8、JV(代表企業以外)0.5、協力事務所0.5)に応じて評価する。

【主任担当技術者(意匠)】

- ・実績 1 件につき、3 点×区分係数（公立小学校 1.0、公立中学校 0.8、その他の教育施設 0.6）×立場係数（管理技術者 1.0、主任担当技術者 0.8、担当者 0.5）×受注形態係数（単独 1.0、J V（代表企業）0.8、J V（代表企業以外）0.5、協力事務所 0.5）に応じて評価する。

2. 結果

第一優先交渉権者 株式会社日建設計

総合点数：445.6 点 / 500 点満点

3. 第一優先交渉権者に対する寸評

基本設計におけるコンセプトを継承しながら実施設計にて検討すべき事項を的確に捉えており、市が認識している課題に対して具体的に提案されている点が評価できる。特に構造や設備においては、快適な室内空間を維持しながらも工期短縮や工事費縮減につながる具体的かつ現実的な提案があり、優れた設計能力を有すると高く評価できる。

また、発注方式の検討（施工者へのヒアリング方法、ECI 方式への対応方法）、建設コストと建設工期の設定においても、情報収集力や経験値の高さから適確な業務遂行を期待できる点や、管理技術者と主任担当技術者の十分な実績と、その上でチーム体制や的確なスケジュールが組まれている点も評価できる。

本第一優先交渉権者は第五小学校及び井之頭小学校改築基本計画・基本設計委託の受託者ではあるが、それまでの設計に甘んじることなく、更なる改善や研究、発展への意欲が見られるプレゼンテーション・ヒアリングであった。